

# 関東大震災

# シンポジウム

3年1組 若松 駿

## 1. 活動時期

: 2023.7.30

## 2. 参加のきっかけ

: 受講している関東大震災ゼミで紹介があり、参加してみようと思ったから。防災に興味があったから。

## 3. 参加した感想

### ①参加する前と後の変化

僕は2023年7月30日に東京大学で開催された大正関東地震100年シンポジウムに参加しました。僕は前から災害などの対策に興味があり、普段から地震の発生の確認や、防災を推し進めていくにはどうしたらいいか、と考えていました。ただ、今まで詳しい話を聞いたり、そういう勉強をした事はなかったので、関東大震災ゼミに参加し、プレゼンや勉強をしていました。そこで、東京大学で関東大震災に関するシンポジウム(公開討論会)が開催されると聞き、1度参加してみたいと思いました。また、東京大学で開催されるということもあり、地震研究所も置かれている東京大学に興味がありました。しかし、ゼミのメンバーが多く集まっている1回目の講演には参加できず、一人で2回目の講演に参加しました。僕自身、講演のような場所に一人で行く事が初めてでしたし、参加している人は大人の方がかなり多かったので、少し緊張していました。ですが、話を聞いているうちに、自然とその緊張も解け、しっかりと話を聞く事が出来ました。そこでは、震災時の東京大学の現状や被害、またそこでの人々がとった行動、またその後の討論会では一人一人の色々な人が来たる首都直下地震に向け、小池都知事や都の消防の方、さらには東京大学の教授の方達による対策の仕方などの講演が行われました。そこでは自分の防災科学の視野も広がりました。また、こういう場に一人で参加したことも緊張しましたが、その分成長できたと思います。また、防災に関することだけでなく、シンポジウムや講義など、一人でも行けるようになったと思うので、これからの活動の大きな指針にもなったと思います。またこういう活動があったら、積極的に参加していきたいです。



### ②活動中の面白かったポイント

- ・東京大学に初めて行けた
- ・安田講堂がとても広くて、綺麗だった
- ・東大教授の講演を沢山聞く事ができた
- ・NHKのディレクターの方に白黒をカラー化した写真を見せてもらった
- ・小池都知事がいらっしゃった(SPも沢山いた)
- ・都の消防の方や、ニュースキャスターの方、東大の教授の方の討論会
- ・その中で、今のまま行くと大きな被害が出る可能性があることもわかった



## 4. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

: 地震と決して無関係とはいかないこの国で、どういう対策をすべきなのか。講演を聞くことで、その方法も見えてくるかもしれません。参加しようか迷ってる方も、今後は是非参加して見て下さい！一緒に考えましょう！